

# 海外情報



ノンウーヴンズ・マーケット特約

## ■米国

### 第3四半期に不織布輸入が増加

米国の02年第3四半期の貿易収支実績は、01年に輸出量が大きく伸びたのとは対照的な結果を示した。米国調査局によれば、02年の米国の9ヵ月間の不織布輸入量は前年同期比で30%増加し、輸出量は7%の増加に留まった。

不織布の貿易収支に関しては安定傾向にあり、全素材の輸入量は9ヵ月間で9万tを下回り、輸出量はほぼ13万5,000tに達した。02年上半期の欧州の対米貿易収支では、EU諸国の不織布の輸入量はかなり低下したが、EUの対米輸出量は増加した。

米国の不織布輸入量は、中程度のフィラメント（спанメルト）、ノンフィラメント素材の出荷量の増加が影響し、9ヵ月間で大きく増加した。25～70g/m<sup>2</sup>のспанメルトの輸入量は、さまざまな国からの輸入が増え、2/3以上増加して2万1,600tとなった。

ノンフィラメント素材もさまざまな国々からの輸入が増加している。輸出に関しては、25～70g/m<sup>2</sup>のспанメルトの輸出が4万3,000tまで急増したが、結果的には7%というわずかな伸びに終わった。

## ■欧州

спанメルト生産能力は40万tに  
欧州テキスタイル・ポリオレフィン

協会（EATP）によれば、02年の西欧州のポリプロピレン・спанボンド、メルトブローン、ステーブルファイバーの生産能力は、前年比で2%以上増加して約40万tとなった。

спанボンド、メルトブローンの02年の生産能力は、前年の37万7,000tから2.4%増加して38万6,000tとなった。中でも、イタリアとスペインの生産能力の伸びが顕著だった。また、トルコでは3,000t生産能力が増加した。

02年のспанボンド、メルトブローンの生産量は未発表だが、前年は29万7,000tだった。01年の稼働率は前年の74%から79%に伸びた。02年のポリプロピレンのステーブル生産能力は前年比で2.1%増加して67万1,000tとなった。増加分の1万4,000tは、主にベルギー、デンマーク、イタリア、英国、フィンランドでの増設。01年のステーブルの生産量は、前年比で4.6%増加し、52万2,000tとなった。

## ■ライフエンハウザー社（欧州）

### フランスなどに不織布ライン販売

ライフエンハウザー社は、トルコとフランスのメーカーにспанメルトラインを販売したと発表した。両ラインは03年下半年に稼働開始の予定である。

トルコの繊維織物メーカー、グルサン・グループは不織布市場への新規参入に向けて初のспанメルトラインを設置中である。ラインの詳細は不明だが、03年半ばに稼働開始の予定。

グルサン社は現在、円形の織物バッグ、ポリプロピレン・フィラメント糸、カーペット糸、ステーブルファイバーを生産している。同社の新不織布ラインは、テラシス社の新カード式ラインなど、トルコ国内での一連の不織布ライン新設の動きの中で最新のもの。

一方、フランスのドヌール社はспанメルト第3ラインをライフエンハウザー社に発注した。ラインの詳細は不

明だが、既存の3.5m幅と同じ規模となる模様で、03年後半に稼働開始予定。同社は現在、年間2万tの生産能力を保有している。

## ■ポリマー・グループ（米国）

### 連邦破産保護法の適用を延期

9月末に開催を予定していたPGI社の会社更生に関する公聴会は、裁判所から破産調査官の任命要請があったため、年末まで延期されることが明らかになった。

ポリマー・グループ（PGI）によれば、これはサウスカロライナ州コロンビア破産裁判所の判決で、無担保負債額が500万ドルを超えるため、聴聞審理官の任命が不可欠であるとされたため。PGIの主要貸主や債権者委員会のメンバーはこの任命に反対している。

聴聞審理官が任命されると、審理終了までに60日間が必要となるが、現在のところ、審理期間および審理官の任命時期は共に未定の状態。このため、今年5月に、米国国内20事業部門の連結負債11億8,000万ドルと総資産11億3,000万ドルを対象とした破産保護を申請したPGI社への破産保護法の適用に遅れが出ている。

PGI社に関する会社更生公聴会の開催は12月になるとの報道もあるが、PGI社債権者委員会およびPGI社の代理人である弁護士グループは、同公聴会の開催にも反対している。

PGI社は昨年8月、02年の売上が8億ドルを下回ると予測したものの、03年には8億7,400万ドル、04年には9億500万ドル、06年には10億ドル弱の売上を達成すると見ていた。

## ■キンバリー・クラーク社（北米）

### 価格競争激化で収益が低下

キンバリー・クラーク（K-C）社は、プロクター&ギャンブル（P&G）社との価格競争激化で苦戦を強いられている北米サニタリー製品事業の再建に向け

て、一連の新価格、マーケティング計画を発表した。

同社は、02年第3四半期収益が予想を下回り、第4四半期のウォール街予測をも下回ることが明らかになったため、同対策をとることにした。北米と中南米のベビー用紙おむつ/トレーニングパンツの売上が減少し、第3四半期の1株あたり利益の伸び率は、ウォール街が予測した11%を下回り9%に留まった。K-C社は現在、今年度収益を、1株あたり3.42～3.46ドルと予想している。

K-C社の第3四半期の売上は、前期比3.3%増加して34億9,000万ドルで、3四半期合計では2.9%増の102億3,000万ドルとなった。K-C社の全世界売上では5%の増加となった。この増加は北米でティッシュ/ヘルスケア/大人用紙おむつが好調だったことが大きな要因。ティッシュに関しては、好調な売上を示しているが、価格面では低下を余儀なくされている。

K-C社は、P&G社との価格競争が続く中、紙おむつのパッケージ数削減による価格の実質5%値上げは行わない予定である。今後は、米国で小パッケージ入り紙おむつと大パッケージ入り紙おむつの単位価格を同額にして販売していく。また、K-C社は同社の不織布技術を活用し、北米のトレーニングパンツとハギーズ紙おむつのラインの改良も行っていく。

#### ■トレデガー社（米国）

##### バックシート事業が低迷

トレデガー社の紙おむつの非通気性バックシート事業シェアは、ここ数年連続して減少し続けているが、今後6カ月はこの減少に歯止めがかからないとみられる。同社は99年まで、エンボス加工のバックシート事業国内シェアの55%を占めていたが、現在そのシェアは35%未満にまで落ち込んでいる。

トレデガー社は、03年に入ってさらに

顕著となるこの減少傾向が、新製品の売上の伸び、海外市場でのシェア拡大による利益を相殺すると考えている。同社はその結果、フィルム収益が最低6カ月から9カ月は増加しないと見ている。

同社は、これまでのようにライン増設や生産能力増強によるシェア獲得を図らず、①世界の女性用サニタリー製品のレイヤーを購入/販売する通気性フィルム事業、②大人用/ベビー用紙おむつ販売を中心としたエラストックフィルム/ラミネート事業、③東部・中央ヨーロッパでの売上増加を見込む通気性フィルム事業、の3成長分野に注力していく計画である。

#### ■コーサ社（米国）

##### 価格操作で2,850万ドルの罰金

02年10月、ポリエステル・ステープルファイバー・メーカー、コーサ社が、違法な価格操作、顧客割当の罪を認めたため、アートヴァ・スペシャルティーズ社とテキスタイル・ステープル部門の取締役トロイ・スタンレー氏は、米国ノースカロライナ州の地方裁判所に告訴された。

司法省の新聞発表によれば、起訴内容は、99年9月から01年1月まで北米ポリエステル・ステープルファイバー業界において、競合他社の参入を抑え、これを排除するために価格操作を行ったことが罪にあたるというもの。アートヴァ社はルクセンブルクを本拠とする企業で、コーサ社の米国での営業活動を担当している。

コーサ社は罪状を認めて、2,850万ドルの罰金を支払うことに合意。スタンレー氏も罪状を認め、2万ドルの罰金を支払い、8カ月間拘置される。コーサ社とスタンレー氏は、共謀者との談合により、談合価格で、特定の顧客にステープルファイバーを販売していた。

#### ■ウェアハウザー社（米国）

##### パラゴン社との契約違反に判決

米国の破産裁判官は、ウェアハウザー

社の責任について、即決裁判の申立てを受け入れ、パラゴン・トレード・ブランド社の破産管理人側の勝訴を決定した。この訴訟は、パラゴン社が90年代のプロクター&ギャンブル社との特許権をめぐる争いに起因している。

破産裁判官は、ウェアハウザー社が、93年のパラゴン社の新規株式公開時に、パラゴン社と交わしたウェアハウザー社紙おむつ事業部門の売買契約において、保証条項のうち4項目に違反していると判断した。

ウェアハウザー社からパラゴン社に譲渡された知的財産は、パラゴン社の新規株式公開時にウェアハウザー社が行っていた事業を実行するのに不十分であった。パラゴン社の破産管理人は、ウェアハウザー社に対して契約保証の違約金として4億ドルを申請し、ウェアハウザー社はパラゴン社が買収した新事業の基幹部門である紙おむつの特許使用に関して、競合各社から必要なライセンスを取得していなかったと主張していた。

#### ■コンサート・インダストリーズ社（加）

##### 過剰生産能力などで業績悪化

カナダのエアレイド不織布メーカー、コンサート・インダストリーズ社は、第3四半期3,800万カナダドルの売上に対して400万カナダドルの純損失を計上したと発表した。同社は、この原因として北米の過剰生産能力、マージンの低下を挙げている。

9月末で終了した2002年度9カ月間で、売上8,550万カナダドルに対して、520万カナダドルの純損失を計上した。一方、2001年同期では、8,430万カナダドルの収益に対して、650万カナダドルの純利益を計上していた。

同社によれば、今回の赤字転落の原因は、北米エアレイド業界の生産能力過剰による業績悪化にあり、同社ケベック工場の稼働率、運転効率が当初目標を達成できなかったことも影響した。

平均販売価格は、02年第2四半期の価格とほぼ同じで、これは前年比で約10%の低下となった。さらに、同社の業績悪化は、特製品、エアレイドの売上よりも、市場供給量の増加の影響をまともに受けた格好となった。

また、ドイツ工場の使用料収益は01年の契約期限終了をもってゼロとなったが、同工場の第1四半期の売上は創業以来最高を記録した。

#### ■キャンダーバー・インベストメンツ社(欧州)

##### オンテックス社(ベルギー)を買収

英国のベンチャー投資会社、キャンダーバー・インベストメンツ社は、ベルギーの欧州最大の自社ブランドサニタリーメーカー、オンテックス社を買収した。キャンダーバー社は、オンテックス社との買収合意に従い、主要株主のヴァン・マルデレンファミリーに5億9,200万ユーロを支払い、77.96%の株を取得する。

なおオンテックス社旧経営陣は、新会社オンテックス・ニューコ社にとどまり、自社株式を保有するほか、旧従業員も全員、新会社に残留する。

新会社は、自社ブランドサニタリー製品の開発、生産、販売で欧州市場をリードする企業と位置付けている。同社は欧州市場に最大の品揃えで女性用製品、ベビー用紙おむつ、大人用紙おむつを提供するという。市場シェアは10%以上。

同社は13カ国に16販売拠点、15生産拠点を保有し、従業員3,500人を抱える。02年上半年期の収益は、前年同期の550万ユーロから300%増加して、税込みで2,180万ユーロとなった。また、02年前期の売上は、前年同期3億6,200万ユーロから5.5%増加して、3億8,200万ユーロとなった。

#### ■キンバリー・クラーク社(米国)

##### 2003年に事業の改善を約束

キンバリー・クラーク(K-C)社は過去2年間財務目標を達成できなかったことを認めたが、今後の事業改善と信用回復を約束した。

#### ■海外における2003年の主な不織布関連イベント

##### ○ジオシンセティック2003

会期；2月11～14日  
開催地；米国ジョージア州アトランタ  
主催；ナショナル・テキスタイルセンター

<http://www.ntcresearch.org/>

##### ○テキスタイル・フランクフルト

会期；4月8～10日  
開催地；ドイツ、メッセ・フランクフルト  
主催；メッセ・フランクフルト

[http://www1.techtexil.de/techt\\_ffm2001/](http://www1.techtexil.de/techt_ffm2001/)

##### ○INDA アニュアル・ミーティング

会期；年5月1日～3日  
開催地；米国メリーランド州ボルチモア、ハーバーコート・ホテル

主催；INDA

<http://www.inda.org>

##### ○ANEX2003

会期；5月21～23日

開催地；中国・上海

主催；ANFA

<http://www.anex2003.com>

##### ○上海テックス(ShanghaiTex)2003

会期；6月2～5日

開催地；中国・上海

主催；雅式展覽服務有限公司

<http://www.adsale.com.hk>

##### ○INTC 2003(国際不織布技術会議)

会期；9月16～18日

開催地；米国メリーランド州ボルチモア

主催；INDA, TAPPI

<http://www.adsale.com.hkwww.inda.org>

<http://www.adsale.com.hkwww.tappi.org>

##### ○IFAI エキスポ2003(IFA 国際産業繊維資材総合展示会)

会期；10月1～3日

開催地；米国ネバダ州ラスベガス、ラスベガス・コンベンションセンター

主催；IFAI

<http://www.ifaexpo.info>

##### ○ITMA 2003

会期；10月21～30日

開催地；イギリス・バーミンガム

<http://www.itma.com>

##### ○INSIGHT 2003

会期；10月20～24日

開催地；米国テネシー州ナッシュビル

##### ○フィルトレーション2003

会期；11月18～20日

開催地；米国イリノイ州シカゴ

主催；INDA

<http://www.inda.org>

##### ○TANDEC 不織布コンファレンス

会期；11月18～20日

開催地；米国テネシー州ノックスビル

主催；TANDEC

<http://www.tandec.com>

同社では、03年に1億7,500万から2億ドルのコスト削減に励み、株価を24～28セントにしていこうとしている。計画中の新製品と改良品で3～5%売上を増やしていく考え。

02年9月に選任された新CEOのフォーク氏は、同社の第4四半期の低迷の原因は、競合会社プロクター&ギャンブル社の北米の紙おむつ・トレーニングパンツ市場での積極的なマーケティング攻勢、南米、メキシコ、アジアでの売上不振にあったとしている。

02年7月、K-C社は、秋に紙おむつ・トレーニングパンツのパッケージ個数を減らして、5%の値上げを行うと発表した。P&G社は、このK-C社の電話会議前日に、2月24日まで値上げを行わないことを発表していた。

#### ■ファイバーマーク社(米国)

##### フィルター事業を売却

特殊紙・不織布メーカー、ファイバーマーク社は、自社工業用フィルター事業のアールストローム社への売却計画を発表した。また、同社は主力事業に集中

するために、自社テーブルカバー事業をアールストローム社のバキュームバッグ・フィルター事業と事業交換する。

アールストローム社が買収する工業用フィルター事業の年間売上は480万ドル。買収により、ファイバーマーク社の工業用・プロセスフィルター製品、顧客リスト、特許、被膜設備は、すべてアールストローム社のペンシルバニア州の工場に移転され、アールストローム社のファイバーコンポジット部門の一部となる。

またファイバーマーク社は、工業用フィルター事業の売却に加え、ドイツの不織布テーブルカバー事業をアールストローム社の米国のバキュームバッグ・フィルターメディア事業と事業交換する。

ファイバーマーク社の不織布テーブルカバー事業の年間売上は約180万ドル、アールストローム社のバキュームバッグ・フィルターメディア事業の年間売上は約190万ドル。ファイバーマーク社が売却する2事業関連の生産・加工設備の資産価値は約40万ドルである。